



# 柳宗悦と古丹波

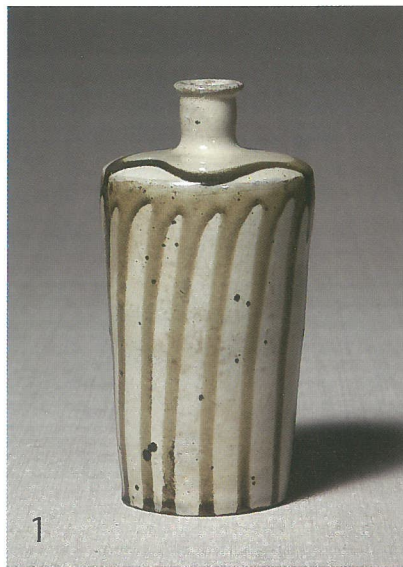
## Soetsu Yanagi and Old Tamba

2020年11月7日(土) ▷ 2021年2月28日(日)

《協 力》

日本民藝館 丹波古陶館 兵庫陶芸美術館 丹波立杭陶磁器協同組合

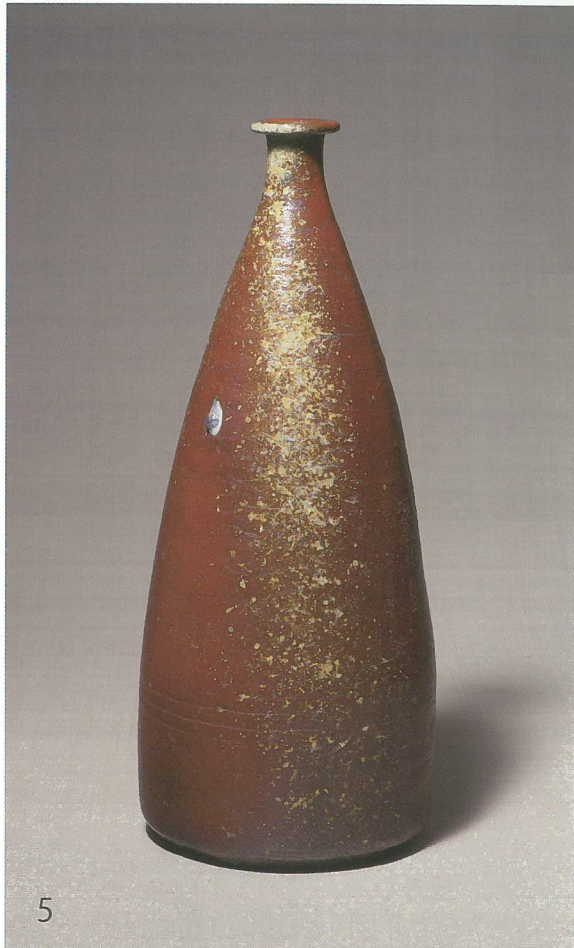
豊田市民芸館



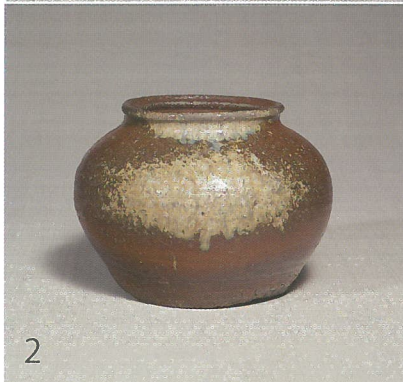
1



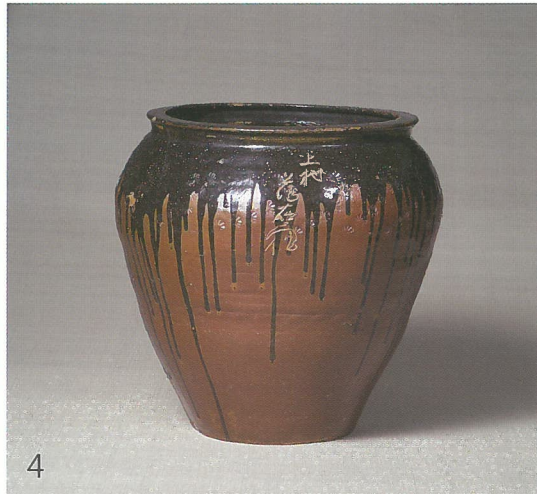
3



5



2



4

1 白掛黒流蠟燭徳利 江戸時代末期 2 赤土部壺 江戸時代前期 3 赤土部釉黒流魚文甕 江戸時代中期  
 4 赤土部灰釉印花文甕 江戸時代中期 5 赤土部釉灰被徳利 江戸時代 表紙 自然釉甕 鎌倉時代

いずれも日本民藝館蔵

民芸運動の創始者で日本民藝館を開設した柳宗悦〔1889-1961〕は1923年の関東大震災の後、住まいを東京から京都へ移します。京都では朝市で丹波で織られた布をよく購入しており、その時に丹波焼との出会いがあったと言われています。1927年には丹波立杭窯を訪問し、次第に丹波焼に惹かれていきました。その後、丹波篠山の古道具商の尚古堂や大阪の百貨店が催した展覧会などを通して丹波焼の様々な作品を蒐集していきます。特に尚古堂の中西幸一氏〔1896-1969〕との出会いは、柳の丹波焼蒐集に大きな影響を与えています。柳は晩年に到るまで数多くの丹波焼を蒐集していますが、焼成時の灰による自然釉の甕や壺に美しさを見出し、その蒐集に邁進していきました。本展では、2019年に日本民藝館で開催された展覧会を再構成し、柳が丹波焼と出会ってから晩年に到るまでの蒐集を辿っていき

ます。また、合わせて豊田市民芸館所蔵の丹波焼の作品も展示します。

### 《関連企画》

#### □学芸員による展示解説

11月21日(土) / 1月30日(土) 14:00~15:00

無料 ただし、当日の入館券の提示が必要〔定員〕先着15人

#### □丹波の土を含んだ粘土での作陶と穴窯の焼成体験

〔作陶日〕11月14日(土)、11月15日(日)のいずれか1日

13:00~16:00 〔窯焚き〕11月29日(日)10:00~11:00

〔対象〕小学生以上(小学生は保護者同伴)、両日とも参加できる方

〔定員〕各日14人 〔参加費〕2,700円(中学生以下は2,300円)

〔申込み〕11月1日(日)までに〒住所、参加者氏名、電話番号、

講座名、希望日(第2希望まで)を往復ハガキ(1枚で1講座、

2人まで)で豊田市民芸館

□開館時間 9:00-17:00

□休館日 月曜日(11月23日・1月11日は開館)、  
12月28日-1月4日

□入館料 一般300円 高大生200円  
中学生以下、豊田市内在住・在学の高校生、  
70歳以上の方、障がい者は無料(要証明書)

□交通〔公共交通〕名鉄三河線平戸橋駅より徒歩15分  
〔車〕東海環状自動車道豊田勘八ICより5分

□〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩 86-100

電話 0565-45-4039 FAX 0565-46-2588

e-mail: mingeikan@city.toyota.aichi.jp

URL: www.mingeikan.toyota.aichi.jp



# 豊田市民芸館